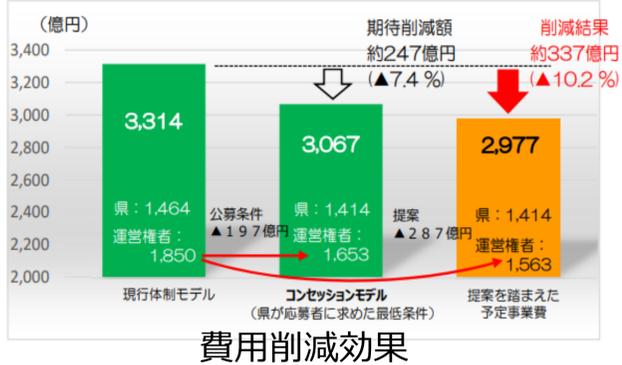
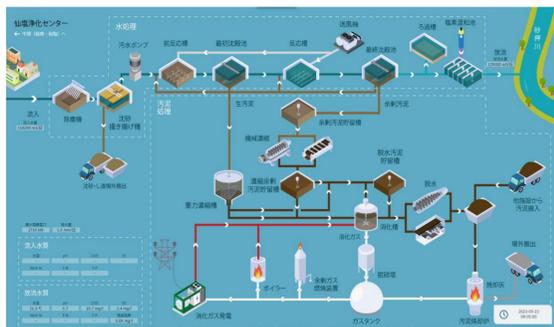




国土交通大臣賞



費用削減効果



構築中のデジタルプラットフォーム画面



事業報告会 (月例報告会)



みずむすびアカデミー (実技)



みずむすびアカデミー (座学)



みずむすびフェス

下水道分野

宮城県上工下水一体官民連携運営事業 (みやぎ型管理運営方式) の導入

取組概要

宮城県企業局が保有する水道用水供給事業、工業用水道事業及び流域下水道事業の水道3事業における浄水場、浄化センター等の施設運営をコンセッション方式活用により、一体的に民間に委ね、民間の創意工夫を最大限活用することで、20年間で337億円のコスト削減を実現し、水インフラの安定性、技術革新及び持続性の確保に道筋をつけた。

事業主体(運営権者等)となったみずむすび2社は本事業の規模・期間・範囲のスケールメリットを活かし、水インフラを一体的に運営する管理体制を構築するとともに、デジタル技術等の導入により新たな官民連携モデルを作り上げた。

受賞理由

水インフラ分野では前例のない水道、工業用水道事業、流域下水道事業の水道3事業における浄水場、浄化センター等の施設運営をコンセッション方式を活用し、一体的に民間に委ねることで、デジタル技術の活用など、民間企業の創意工夫を最大限活用しながら、20年間で337億円のコスト削減を図っていることが評価された。

取組のポイント

令和3年12月に実施契約を締結し、令和4年4月からみやぎ型管理運営方式の事業運営を開始した。民間事業者により地域に根差した新たな維持管理会社の設立、デジタルプラットフォームの構築と運用、面的な広がりをもつ事業の特色を活かした特徴的な維持管理体制の構築や、一体的なマネジメントが進んでいる。宮城県企業局としても、全国の水インフラにおける経営基盤強化の新規モデルとして、モニタリング体制構築や情報発信を行い、今後の普及展開へ向けた活動も実施している。

受賞者について



宮城県企業局



みずむすび
マネジメント社



みずむすび
サービス社

受賞者

- 【宮城県企業局】公営企業管理者 佐藤達也
- 【みずむすびマネジメントみやぎ】社長 中村英二
- 【みずむすびサービスみやぎ】社長 安東武智

コメント

この度は国土交通大臣賞という大変に名誉ある賞をいただき、光栄に存じます。本事業に関わる関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

みやぎ型管理運営方式は宮城県企業局と運営権者が協力し、20年間運営していく事業となります。

今後も、安全・安心な水の供給と安定的な汚水の処理に努めてまいります。

団体概要

【宮城県企業局】水道用水供給事業をはじめとした4事業を、2つの課と4つの地方機関に所属する115名の職員(令和5年4月1日現在)で運営しています。

【みずむすび2社】みやぎ型管理運営方式導入にあたり、令和3年5月に、地元企業を含む水のプロフェッショナル企業10社の出資により設立されました。「地域」「信頼」「革新」の3つの経営方針に基づき、水道3事業に係る改築業務及び維持管理業務を2社で一体的に担っています。

問い合わせ先

宮城県 企業局 水道経営課
022-211-3430
suikei@pref.miyagi.lg.jp